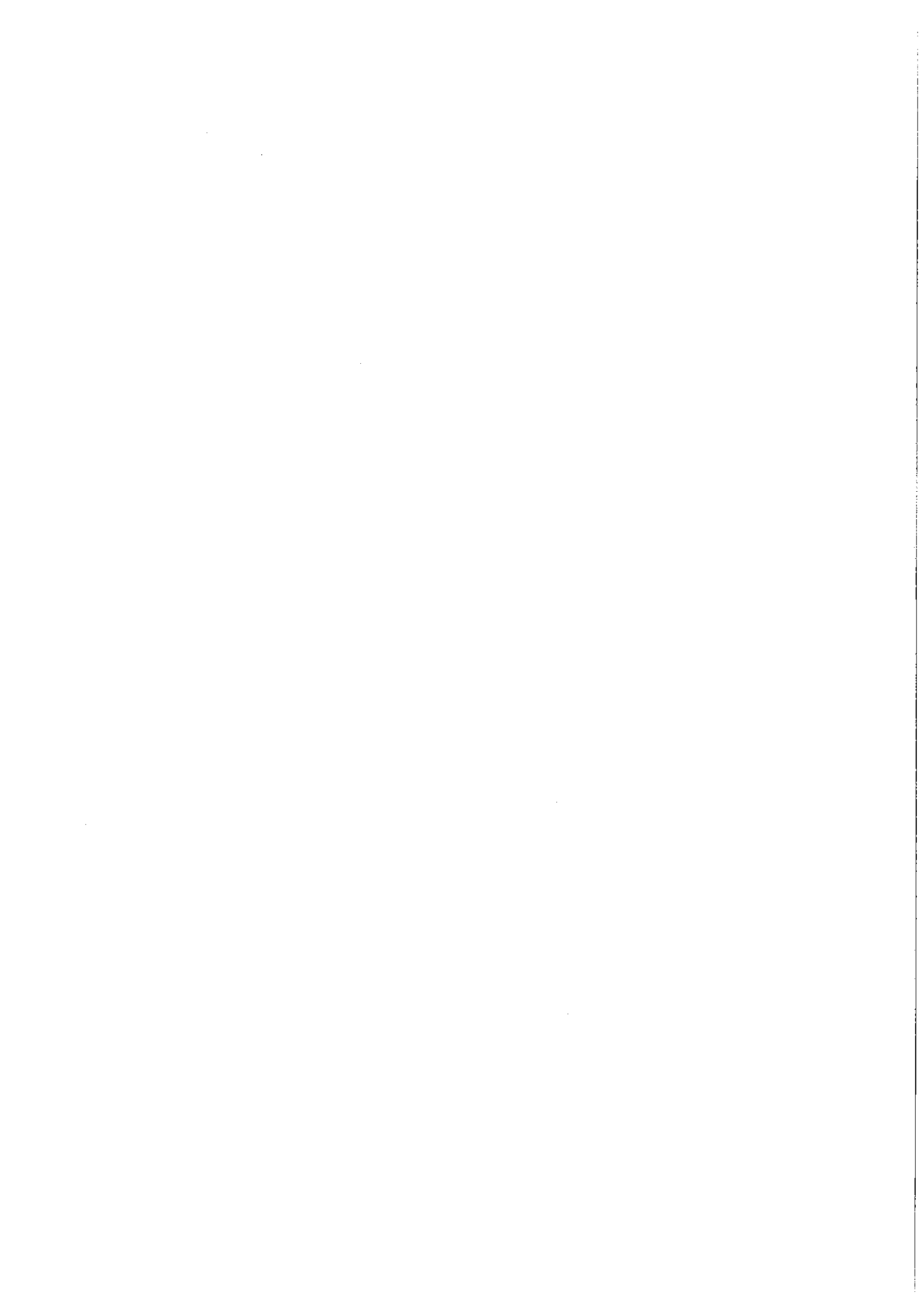


令和4年度

事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会



目次

I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立	
(1) 会議等の開催	1
(2) 会員制度の勸奨	2
(3) 不祥事への対応	3
2. 効率的で適正な施設管理・運営	
(1) 総合福祉センターの管理運営	3
3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用	3

II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化	
(1) 「社協だより」の発行	4
(2) 令和4年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催	5
(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞	5
(4) 啓発物品の配布等	5
2. 関連団体と協働した事業の展開（赤い羽根共同募金）	
(1) 福祉団体等の主体的な活動促進	6
(2) 関係機関との連携	6
3. 支援を要する世帯等への支援	
(1) 生活福祉資金貸付事業	7
(2) 生活つなぎ資金貸付事業	7
(3) 赤い羽根一時給付金	8
(4) 災害等見舞金支給実績	8
(5) フードバンクによる支援	8
(6) 法人後見事業	8
(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	9
(8) 鹿沼市生活再建応援事業	9
(9) 生活困窮者自立支援事業	10
(10) ひきこもり家族会	10

III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進	
(1) 第3期地域福祉活動計画の推進	11
(2) 第4期地域福祉活動計画の策定	11
(3) 地域の主体的活動促進	12
2. 鹿沼市みまもり隊の支援	13
3. 移送サービス事業	13

IV ボランティア活動の推進

1. ボランティアの発掘と育成	
(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり	14
(2) ボランティア講座の開催と活動促進	14
(3) ボランティア団体等への支援	17
(4) 福祉機材の貸出	18
(5) 寄附事業の運営	19
2. ボランティア活動と企業との連携	
(1) 企業との連携	19
3. 日本赤十字社活動の実施	21

V 災害対策事業

1. 令和4年度大雨災害の対応	22
2. 研修・会議等への参加	23
3. 養成講座の開催	23

VI 介護・障がいと自立支援

1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	24
(2) 通所介護事業（デイサービス）	24
2. 心配ごと相談事業（介護相談）の実施	26
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	26
(2) 研修・会議等への参加	26
(3) 虐待防止委員会・設置・開催	26

VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営

VIII 高齢者福祉センターの運営

<参考資料>

1. 会費（年度別状況）	
2. 総合福祉センターの利用状況	
3. 表彰受賞者	
4. ボランティアセンター登録団体	
5. 共同募金の状況	
6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況	
7. 障がい福祉サービスの提供状況	
8. 研修会・会議等への参加状況	
9. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表	

I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

1. 法人運営の確立

(1) 会議・研修等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
5月31日	理事会 (第222回)	12名	(1)令和3年度事業報告の承認について (2)令和3年度収支決算の承認について (3)令和4年度第2次補正予算について (4)定款施行細則の一部改正について (5)評議員候補者の推薦について (6)議員候補者の推薦について (7)理事候補者の推薦について (8)評議員選任・解任委員の選任について (9)令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について (10)第189回定時評議員会の開催について
6月17日	定時評議員会 (第189回)	14名	(1)令和3年度事業報告の承認について (2)令和3年度収支決算の承認について (3)令和4年度第2次補正予算について (4)理事の選任について
11月29日	理事会 (第223回)	12名	(1)令和4年度第5次補正予算について (2)相談支援事業運営規程の一部改正について (3)法人後見事業における不祥事の裁判和解について (4)理事候補者の推薦について (5)第190回評議員会の開催について
12月20日	評議員会 (第190回)	14名	(1)令和4年度第5次補正予算について (2)議案第2号 理事の選任について
2月28日	理事会 (第224回)	9名	(1)経理規程の一部改正について (2)令和4年度第6次補正予算について (3)令和5年度事業計画について (4)令和5年度収支予算について (5)地域密着型通所介護事業(鹿沼市社協デイサービスセンター)廃止について (6)評議員候補者の推薦について (7)評議員候補者の推薦について (8)理事候補者の推薦について (9)苦情解決相談委員会第三者委員の選任について (10)役員等賠償責任保険契約の締結について (11)令和4年度第2回表委員選任・解任委員会の開催について (12)第191回評議員会の開催について (13)定款施行細則の一部改正について

I. 適切な法人運営と施設管理

3月23日	評議員会 (第191回)	12名	(1) 令和4年度第6次補正予算について (2) 令和5年度事業計画について (3) 令和5年度収支予算について (4) 地域密着型通所介護事業(鹿沼市社協デイサービスセンター)廃止について (5) 理事の選任について
-------	-----------------	-----	---

②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月18日	黒川亨・大塚次郎	令和3年度事業執行状況及び経理状況について

③中間監査

実施日	監査人	内 容
11月15日	黒川亨・大塚次郎	令和4年度上期の事務執行状況、上期の会計処理状況について

④内部監査の実施 (年2回実地)

実施日	監査人	内 容
10月27日 1月25日	神山 大、福田 史織	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
11月16日 1月25日	神山 大、福田 史織	千寿荘の帳簿等各種の管理について

⑤職員研修の実施

職員の資質向上を図るため、全職員を対象とした倫理研修(コンプライアンス研修)を実施したほか、各種福祉の基礎・専門研修等に積極的に参加した。

【参考資料 P33、34】

(2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

(): 前年度比

会費区分	世帯数(件)	口数(口)	計(円)
普通会費(1口 500円)	18,410	18,580	9,286,952 (2%減)
賛助会費(1口 2,000円)	57	57	114,000 (13%減)
特別会費(1口 3,000円)	25	27	82,000 (20%減)
団体会費(1口 5,000円)	104	107	535,000 (7%増)
合 計	18,596	18,771	10,017,952 (2%減)

【参考資料 P29】

(3) 不祥事への対応

法人後見事業における不祥事について、当会の依頼した弁護士と、Aの成年後見人である弁護士とのあいだで話し合いが行われ和解が成立した。和解の内容は下記のとおり。

《内容》

Aの退職金 14,546,010円 ※退職金の振り分けについては右記のとおり	内訳	
	2,000,000円	Aに支払い(解決金)
	124,214円	所得税及び市県民税(預り金)
	7,574,078円	賠償金(立替金)
	2,550,000円	弁護士費用
	2,297,718円	当会への収入

2. 効率的で適正な施設管理・運営

(1) 総合福祉センターの管理運営

ボランティア・各種登録団体・施設等に会議室や機材を無償貸出することにより、施設の有効活用を図った。また、利便性や安全性を担保しながら、感染症対策や変化していく利用者ニーズに対応した福祉活動拠点に相応しい効率的な運営に努めた。

施設管理においては、竣工後35年が経過するなかで、建物や設備の老朽化に伴う不具合が生じることもあるが、安全かつ安定した施設運営を行うため、予算の範囲内で計画的に修繕を行い、屋内階段修繕、事務室の照明のLED化を行い節電の促進を図るなど、適正な保守管理に努めた。

<会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	59	252	52	182	16	109	127	543
中会議室	290	292	290	299	37	435	617	1,026
大会議室	134	2,399	101	1,734	26	529	261	4,662
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	47	301	36	284	49	541	132	1,126
生きがい広場	154	1,272	144	1,163	11	160	309	2,595
合計	684	4,516	623	3,662	139	1,774	1,446	9,952

【参考資料 P29】

<団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数(日)
鹿沼市ボランティア連絡協議会	0
つくし会	0
鹿沼市老人クラブ連合会	199
合計	199

3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用

(1) 基金の保管状況 (詳細は、令和4年度決算書参照)

寄附金の一部を普通預金、定期預金、債券の形に変えて保管。利息を活用し補助事業を行った。

(2) 利息収入を活用した団体補助

利息収入を活用した団体補助団体名	金額(円)
鹿沼市自治会連合会	300,000
鹿沼市ボランティア連絡協議会	200,000
鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会	150,000

Ⅱ.総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根共同募金）の配分金を財源として実施した。>

1. 福祉啓発の充実・強化

(1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

号 数	発行日	主な掲載内容
第 236 号	6 月 25 日	◇令和 4 年度 17 地区担当職員の紹介 ◇令和 3 年度事業報告及び決算報告 ◇令和 4 年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇各種講座、フードバンクなどのお知らせ
第 237 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇社協職員の募集 ◇新評議員、新役員（理事・監事）紹介 ◇福祉講座等の開催の報告 ◇相談窓口の紹介及び各種講座等のお知らせ
第 238 号	12 月 25 日	◇令和 5 年の新年のご挨拶 ◇赤い羽根共同募金の活用報告及び公募助成募集 ◇善意銀行寄附の報告 ◇ヤングケアラーについて ◇各種講座、相談会などのお知らせ
第 239 号	3 月 25 日	◇令和 4 年度赤い羽根共同募金運動結果報告 ◇ふくしのチカラ大賞 ◇地域活動報告 ◇各種教室、学習会のご案内 ◇令和 4 年度社協会員・会費のご報告



◇「社協だより」の発行

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(2) 令和4年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催

鹿沼市社会福祉大会（第48回）を今後のさらなる地域福祉とボランティア活動の推進を図ることを目標とし、令和4年度より鹿沼市地域福祉振興大会としてリニューアルし開催した。

第一部式典では表彰状及び感謝状の贈呈、第二部ではとちぎ市民協働研究会の廣瀬隆人氏をお迎えし「地域で活躍する人を増やすには」をテーマに講演をいただいた。

表彰状・感謝状贈呈者の内訳

① 大会会長表彰受賞者

・地域福祉功労者 58名

② 大会会長感謝状受賞者

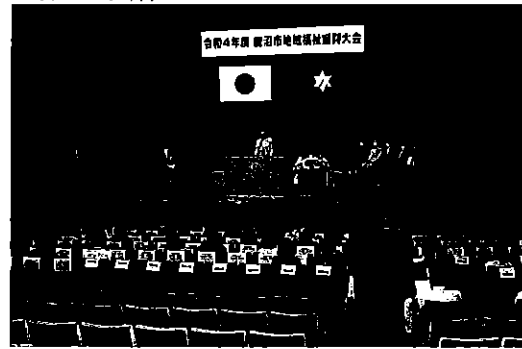
・ボランティア功労者・団体 13名・7団体

〔実施日：令和4年6月29日（水）〕

〔場 所：鹿沼市民文化センター小ホール〕



◇大会会長あいさつ



◇地域福祉振興大会式典の様子

【参考資料 P29】

(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

コロナの影響により各表彰部門における代表者のみが栃木県民のつどいに参加し、以下の表彰を受けた。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和4年8月22日（月）

会 場 栃木県総合文化センター 特別会議室

① 栃木県知事表彰受賞者

・共同募金運動協力団体又は協力者 1名

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

・社会福祉施設・団体関係功労者 29名

③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者

・共同募金功労者 2名

※鹿沼市社会福祉協議会、共同募金会鹿沼市市会を通じ表彰対象となった方の数字を記載

【参考資料 P30】

(4) 啓発物品の配布等

① 赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子的配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、赤い羽根共同募金運動の啓発や交通安全を目的として赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子を配布した。

◇配布数：711個

◇鹿沼市教育長への黄色い帽子贈呈 ⇒



2. 関連団体と協働した事業の展開(赤い羽根共同募金)

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

① 関係団体の特色ある福祉活動を支援

18団体 計1,480,000円

② 災害対応に係る活動を支援した 1団体 計 300,000円

③ 新規事業立ち上げに係る支援 1団体 計 50,000円

④ 高齢者サロンの運営支援 33団体 計1,072,046円

⑤ 地域課題を皆で考えるために講演会を開催

・ヤングケアラー講演会(令和4年10月10日)

・社会からの孤立とひきこもりをみんなで支える講演会(令和5年1月26日)

(2) 関係機関との連携

ボランティア団体や企業、鹿沼市関係部署等と連携を図り各種事業を展開した。

<サンタ DE メリークリスマス事業実績>

在宅で生活する知的障がい児に、クリスマスの雰囲気を楽しんでもらうことを目的に実施した。

なお、対象者の確認にあたり、市内の障がい者通所施設や鹿沼市の障害福祉課、福祉事務所と連携を図った。

援助対象	援助内容	対象数(人)	単価(円)	金額(円)
① 在宅重度知的障がい児	クリスマスケーキ	32	3,500	112,000
② 生活介護施設通所者	チョコレート	146	1,100	160,600
③ あおば園通所児童	おもちゃ券	134	1,000	134,000
合計		312		406,600

※①については、鹿沼中央ロータリークラブ、鹿沼市ボランティア連絡協議会、株式会社LIXILトータルサービスの協力を受けてお届けした。

<ひとり親家庭支援事業実績>

児童扶養手当受給世帯を対象に、お米の配布と子どもの思い出作りの一助となる支援を行った。

フードバンクボランティアや鹿沼市ボランティア連絡協議会、鹿沼青年会議所、子ども食堂ネットワーク、(株)LIXILトータルサービス、(株)ダイナム栃木鹿沼店と協働で実施した。

また、対象者への案内については、鹿沼市こども未来部との連携を図った。

希望世帯数	来場者数
87世帯	159人



◇お米配布準備の様子



◇遊び場の様子

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付事業

(令和5年3月31日現在)

資金種類		相談 件数	借入れ申請		貸付決定		貸付否決	
			件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
総合支援資金	生活支援費	5	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	2	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	6	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	5	3	1,352,000	3	1,292,000	0	0
	緊急小口資金	7	2	200,000	0	0	2	200,000
コロナ特例 ※受付9月末迄	緊急小口資金	138	67	13,100,000	66	12,900,000	1	200,000
	総合支援資金	67	65	36,300,000	64	35,700,000	1	600,000
教育支援資金	教育支援費	6	1	4,164,000	1	2,064,000	0	0
	就学支度費	5	2	629,000	2	629,000	0	0
不動産担保型生活資金		3	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		2	0	0	0	0	0	0
合 計		246	140	55,745,000	136	52,585,000	4	1,000,000

令和5年1月からのコロナ特例貸付の返済に先立ち、令和4年6月より返済の免除・猶予・計画変更等の相談受付を開始した。

<相談・申請件数>

資金種類		職権免除 (件)	免除申請(件)		猶予申請(件)		計画変更(件)	
			承認	不承認	承認	不承認	承認	不承認
コロナ特例	緊急小口資金	11	234	14	16	0	1	0
	総合支援資金	15	171	11	11	0	1	0

(2) 生活つなぎ資金貸付事業

貸付件数(件)	貸付金額(円)
33	896,000

徴収不能欠損した件数(件)	徴収不能欠損金額(円)
1	10,000

償還指導	督促発送(回)	面接(回)	訪問(回)	電話(回)	住所照会(件)
	3	0	2	3	12

貸付中債権数	貸付債権数(件)	貸付金額(円)
	117	2,114,000

II. 総合的な福祉事業の推進

(3) 赤い羽根一時給付金

対象	単価	給付人数合計
生活に困窮している方	5,000円分商品券	70名

(4) 災害等見舞金支給実績

区分	件数(件)	単価(円)	金額(円)
風水害(半壊)	0	5,000	0
風水害(流出)	0	10,000	0
風水害(床上浸水)	0	5,000	0
風水害(弔慰金)	0	1人につき10,000	0
火災(半焼)	0	10,000	0
火災(全焼)	4	※20,000	80,000
火災(半壊)	0	※10,000	0
火災(全壊)	1	※20,000	20,000
火災(弔慰金)	2	※1人につき10,000	20,000
合計	7	—	120,000

※については栃木県共同募金会からの配分との合計。

(5) フードバンクによる支援

市民の方々から寄附していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

	件数(件)	米(kg)	食料(kg)
食品の受領	434	3,702	3,517
食品の配布	479	3,781	3,225

(6) 法人後見事業

令和5年2月8日に法人後見運営委員会を開催し、不祥事案件の報告と成年後見制度の状況や今後の法人後見事業について委員の皆様から意見を頂いた。関係する会議や研修に参加し、情報収集や関係機関との連携に努めた。

会議名	回数(回)
鹿沼市成年後見制度利用促進協議会	1
鹿沼市権利擁護ケース検討会議	6
法人後見事業推進連絡会議	3
家事関係機関との連絡協議会	1

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

7月27日に生活支援員の意見交換会を開催し、支援員8名と日々の支援業務について意見交換を行い、交流を図った。9月12日に2年に一度開催される栃木県運営適正化委員会の運営監視委員会による訪問調査を受け、改善が図れるよう努めた。

◇サービス利用対象者

- ・ 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・ 虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 令和5年3月31日現在（単位：件）

問合せ	79
初回相談	38
相談援助件数	2,379
合計	2,496

<契約実績> 令和5年3月31日現在（単位：件）

R3年度契約総数	R4年度新規契約数	R4年度解約数	現契約数
89	11	11	89

(8) 鹿沼市生活再建応援事業

鹿沼市から委託を受け、コロナ禍の影響により生活が困窮した世帯に鹿沼市共通商品券を交付した。

対象：生活福祉資金コロナ特例貸付申請者（R4年4月1日から9月30日分）

内容：1世帯5万円分の鹿沼市共通商品券（子育て世帯には加算あり）。

実績：67世帯 3,619,000円

区分	単価（円）	数	金額（円）
申請世帯	50,000円	67世帯	3,350,000
加算	未就学児	3,000円 18名	54,000
	小・中学生	5,000円 37名	185,000
	高校生	10,000円 3名	30,000
合計		67世帯	3,619,000

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(9) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や家計相談を行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。

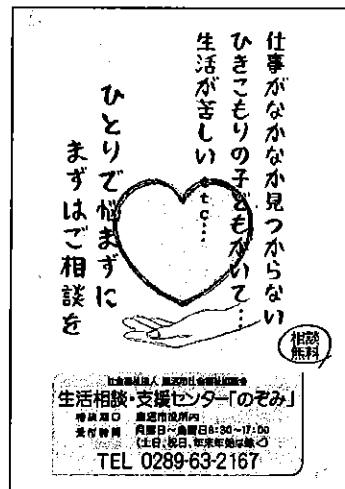
<相談対応実績> 令和5年3月31日現在

相談件数：197件（うち就労者数：33名）

活動内容 (延件数)

相談内容	件数(件)
病気や健康	11
住まい	13
収入・生活費	121
家賃やローン	10
税や公共料金支払い	5
債務	4
仕事探し、就職	11
仕事上の不安	3
地域と関係	1
人間関係	6
子育て、介護	2
引きこもり、不登校	1
DV、虐待	1
食べるものがない	0
その他	8
合計	197

面接(回)	訪問(回)	関係機関同行(回)	プラン作成(件)
787	347	135	48



(10) ひきこもり家族会

引きこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。 単位：名

開催日(毎月第3木曜日)	会場	参加者数(内関係者)
1 令和4年 4月21日	総合福祉センター	10 (3)
2 令和4年 5月19日	総合福祉センター	10 (2)
3 令和4年 6月16日	総合福祉センター	7 (2)
4 令和4年 7月21日	総合福祉センター	5 (2)
5 令和4年 8月18日	総合福祉センター	5 (2)
6 令和4年 9月15日	総合福祉センター	5 (2)
7 令和4年10月20日	総合福祉センター	5 (2)
8 令和4年11月16日	総合福祉センター	0 (0)
9 令和4年12月15日	総合福祉センター	5 (2)
10 令和5年 1月19日	総合福祉センター	6 (3)
11 令和5年 2月16日	総合福祉センター	5 (3)
12 令和5年 3月16日	総合福祉センター	7 (3)
合計		70 (26)

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

1. 地区社協の活動支援と連携促進

(1) 第3期地域福祉活動計画の推進

平成30年度に策定した第3期鹿沼市地域福祉活動計画（H30年度～R4年度）に基づき、市内17地区の地区社協が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、地域の支えあい活動や集い事業、高齢者の介護予防や地域事業への参加を促す地域福祉活動を支援した。

<補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	80,000
中央地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	100,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	世代間交流事業	60,000
南摩地区福祉活動推進協議会	サロン事業・環境美化事業・集い事業	180,000
永野地区福祉活動推進協議会	高齢者介護予防事業	100,000
合 計		520,000

(2) 第4期地域福祉活動計画の策定

令和5年度より施行される第4期地域福祉活動計画（R5年度～R8年度）について、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会連合会をはじめ、ボランティアや子育て支援団体、地域包括支援センターやボランティア活動実績のある大学生などの計画策定委員と協働し本計画の策定及び制定を行った。



第4期地域活動計画（冊子）



◇策定委員の皆さま

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

(3) 地域の主体的な活動促進

市内の地区社協活動を支援するために助成金を交付したが、コロナの影響で事業を縮小又は中止する地区もあった。

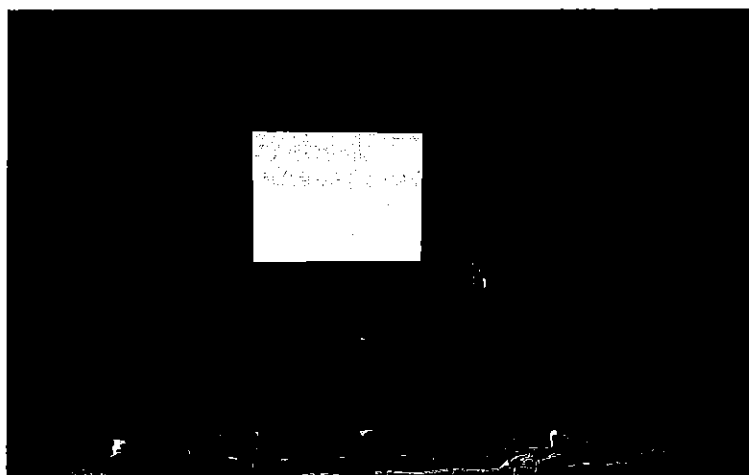
<地区社協への助成金内訳>

地区社協名	例年実施している主な事業	助成金額 (円)
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,015,000
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,213,000
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,411,000
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業 ◇友愛訪問	1,567,000
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ゲートボール大会	501,000
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,433,000
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	369,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	275,000
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇ホットサロン事業	424,000
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇ふれあい祭敬老会 ◇そば打ち教室	842,000
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,675,000
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	569,000
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇高齢者招待事業	631,000
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇敬老会事業	582,000
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあいサロン	357,000
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇友愛訪問	344,000
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇世代間交流事業	419,000
合 計		13,627,000

2. 鹿沼市みまもり隊の支援

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内17地区において見守り・相談活動を実施した。また、ご近所福祉クリエイター酒井保先生に学ぶ「地域づくりのヒントお伝えします」の講演会をみまもり隊員向けの研修として位置付けた。

見守り・相談延べ回数（鹿沼市全体）： 39,694回



◇講演会の様子



◇ハンドブック

3. 移送サービス事業

日常生活においてさまざまな事情により、公共交通機関を利用できない市民が、良好な日常生活を送るため各地区のボランティアによる移送サービスを実施した。

地区名	加蘇地区	西大芦地区	南押原地区	栗野地区	粕尾地区	永野地区	清洲地区	合計
ボランティア登録者数	81人	264人	36人	84人	65人	72人	36人	638人
利用登録者数	57人	128人	65人	170人	155人	31人	29人	635人
ボランティアによる移送回数	27回	39回	18回	40回	82回	42回	27回	275回
コミセン職員による移送回数	0回	5回	0回	2回	0回	1回	0回	8回
運行回数	27回	44回	18回	42回	82回	43回	27回	283回

※上記、登録者数及び回数は延べ数

IV. ボランティア活動の推進

コロナの感染対策を図りながら、小中高生向けの講座や学校福祉体験の実施、各種団体や企業と連携し、イベントやボランティア講座等を行い、工夫をしながら市民・団体・企業の福祉意識の向上に努めた。

1. ボランティアの発掘と育成

(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり

「第19回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援については、コロナの影響で中止となった。

あらためて令和5年度4月の開催に向けて実行委員会が立ち上がり、フェスタが再開できるよう実行委員会及び執行部会がスタートし運営のサポートを行った。

(2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象に、幅広いテーマと具体的な体験学習を通じてボランティア育成に努めた。

①福祉体験サポーター教室の開催

学校福祉教育の際に職員と同行し、体験の補助をしていただくボランティア（サポーター）の養成を目的に講座を開催した。

◇開催日 令和5年3月6日（月）

◇会場 総合福祉センター（館内・屋外）

◇主催・共催 （主催）鹿沼市社会福祉協議会 （共催）鹿沼市ボランティア連絡協議会・登録団体等

◇内容 【講話】

- ・福祉教育について
- ・福祉体験サポーターについて

【体験学習】

- ・車いす体験
- ・ガイドヘルプ体験
- ・高齢者疑似体験

◇参加者 4名



②手話・訳講座の開催

講座名	回数(回)	受講者数(名)		備考
		延べ人数(名)		
初めての手話講座(初級) 昼の部	7/27～ 9/28	10	5	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 1名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			50	
初めての手話講座(初級) 夜の部	7/27～ 9/28	10	13	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 2名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			106	
初めての点訳講座(初級)	7/27～ 9/28	10	4	講師：点訳グループ「桐」2名
			31	
合計	30		22	
			187	

福祉体験サポーター教室の開催

東日本盲導犬協会へ行き、盲導犬の仕事や正しい接し方を学び、体験をきっかけに、多様性を受け入れ、目の見えない人や見えにくい人に自然に声をかけ助け合える心を育てる目的として開催した。

◇開催日 令和4年7月28日（月）、29日（火）

◇対象者 市内在学の小学5年、6年生

◇会場 東日本盲導犬センター

◇内容 【講話】

- ・視覚障がい者の見え方について
- ・日常生活の工夫
- ・外を歩くときの方法
- ・盲導犬になるまで

【体験学習】

- ・盲導犬と歩く

◇参加者 16名

④中高生サマースクール（福祉施設体験）の開催

福祉施設での体験を通して、施設職員が利用者とどのように関わりを持っているのか、どのような支援をしているのか、また利用者がどんな思いを抱え生活しているのかを感じ、福祉をより身近なものと感じ、自分で考え行動できるきっかけとなることを目的として実施した。

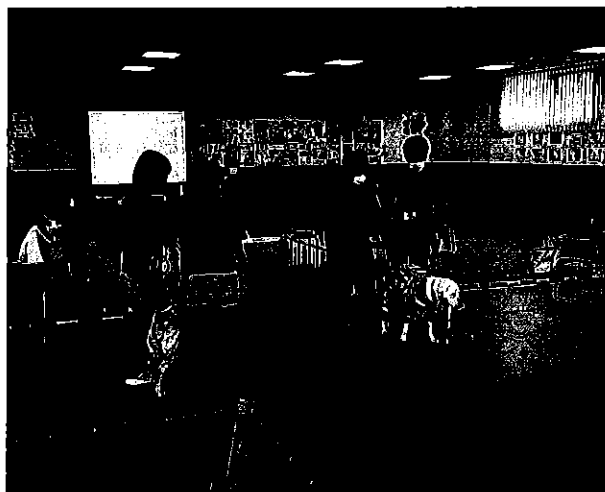
◇開催日 令和4年8月10日（水）

◇対象者 市内中学校・高等学校の学生

◇体験施設 市内障害者支援施設、高齢者福祉施設

◇内容 ・施設体験
・グループワーク

◇参加者 5名



◇小学生ミニ福祉講座
（東日本盲導犬センター）



◇中高生サマースクール
（福祉施設体験）

IV. ボランティア活動の推進

⑤学校での体験学習開催

小・中・高等学校からの福祉体験の依頼に応じ、福祉体験サポーター（地域住民）や関係機関等と共同し、校内で体験学習と講話を実施した。

日時	学校名	内容	参加者数(名)
11月9日	鹿沼南高等学校	【福祉講話】 ①介護に関する講演 ②ひきこもり支援に関する講演	433
6月9日	加蘇中学校(2年生)	高齢者疑似体験	10
11月25日	南押原中学校(全校生)	1年生：車いす体験 2年生：高齢者疑似体験 3年生：認知症サポーター養成講座	80
6月14日	津田小学校(4年生)	車いす体験(介助)・高齢者疑似体験	27
6月15日	中央小学校(4年生とその保護者)	車いす体験・講話	114
7月15日	東小学校(4年生)	車いす体験・動画視聴 (身体障がい者との関わり)	149
9月2日	南押原小学校(3年～4年生)	車いす体験・高齢者疑似体験	11
10月31日	北小学校(4年生とその保護者)	車いす体験・講話(障害について)	142
11月29日	みどりが丘小学校(4年生)	車いす体験・ガイドヘルプ体験	77
5月16日	適応指導教室(6年生・中学3年生)	車いす体験・講話 (車いすでの生活について)	5



◇車いす体験



◇アイマスク体験

IV. ボランティア活動の推進

⑥学校での体験学習支援

小・中・高等学校のボランティア学習に手話・点訳講師の派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区 分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	20校 (50回)	18校 (40回)
中学校	3校 (19回)	2校 (8回)
高等学校	0校 (0回)	0校 (0回)
合 計	23校 (69回)	20校 (48回)

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

(3) ボランティア団体等への支援

①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等10団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団 体 名	援助金該当事業	交付額 (円)
1	お話ボランティアネットワークかぬま	会員のスキルアップ研修、傾聴活動	50,000
2	介護服リフォーム“ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣服リフォーム等	30,000
3	点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流会、点字指導等	100,000
4	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動	100,000
5	要約筆記サークル いちご	聴覚障がい者にPC等で会議内容を要約する活動	50,000
6	朗読グループ いずみ	会員のスキルアップ研修	80,000
7	フラダンス とりあえず	福祉施設への慰問活動	70,000
8	栃木県シルバー大学校中央校同窓会鹿沼支部	社会福祉施設への慰問活動	85,000
9	NPO法人 レインボー	親子交流活動(のびのびすくすく)	100,000
10	デイジー こだま	市広報等のデイジー版製作活動	30,000
	合 計		695,000

IV. ボランティア活動の推進

②福祉教育学校助成金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、赤い羽根共同募金を財源とした学校助成金配分金を7校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉体験学習	61,000
2	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習	62,000
3	鹿沼市立東小学校	福祉体験学習	100,000
4	鹿沼市立中央小学校	福祉体験学習	80,000
5	鹿沼市立池ノ森小学校	福祉体験学習	100,000
6	鹿沼市立南摩小学校	福祉体験学習	65,000
7	鹿沼市適応指導教室	福祉体験学習	20,000
合 計			488,000

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	160	着ぐるみ	14
高齢者疑似体験セット (大人)	41	綿菓子機	14
高齢者疑似体験セット (小人)	4	ポップコーン機	10
アイマスク	0	かき氷機	16
白杖	0	焼き芋機	4
パソコン	11	きね・うす	4
スクリーン	15	水槽	1
プロジェクター	26	発電機	2
マイク・スピーカー	4	ドラムコード	8
机	1	クーラーボックス	2
椅子	1	テント (1間×2間)	0
ベンチ	1	テント (2間×3間)	1
ボランティア号 (ハイエース)	4	タープテント	4
ボランティア号 (シエンタ)	22		
ポッチャ	1	合計	371

IV. ボランティア活動の推進

(5) 寄附事業の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、寄附いただいた金品を送金することにより、団体等の活動基盤を強化した。

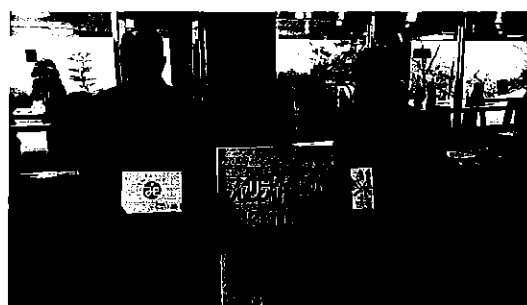
＜寄附金取扱実績＞

単位：件、円

寄附金 送金先	3年度繰越金	4年度寄附		4年度送金		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指 定 な し	2,734,222	29	668,845	10	695,000	2,708,067
社会福祉団体	5,000,000	24	1,354,020	24	2,253,020	4,101,000
預 金 利 息	0	2	75	1	75	0
合 計	7,734,222	55	2,022,940	35	2,948,095	6,809,067



◇鹿沼木工団地協同組合 様より



◇72カントリークラブ 様より

2. ボランティア活動と企業との連携

(1) 企業との連携

社会貢献活動に取り組む企業と連携し、事業への参加協力やボランティア団体等の活動支援やイベントの開催を協働で行うことで、地域住民や団体との交流や繋がりを支援した。

①ひとり親の親子を対象にした企業による体験イベントの開催

株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店様より体験キットを無償で提供していただき、ひとり親の親子を対象にした体験イベントを実施した。

◇イベント名：夏休み思い出作り企画「親子で楽しむ！木製パズルづくり体験」

◇開催日：7月23日（土）

◇対象者：市内在住のひとり親の親子

◇会 場：市民情報センター

◇共 催：株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店、鹿沼市社会福祉協議会

◇協 力：鹿沼市ひとり親家庭福祉会

◇内 容：親子で木製パズルづくり体験

◇参加者：6名 子ども9名



②企業・団体の共同によるクリスマスイベントの開催

ひとり親家庭福祉社会が会員同士の交流と啓発を目的に主催するクリスマス会に株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店様が体験キットを無償で提供し、共同してイベントを実施した。

- ◇イベント名：「ぶちとま鹿沼 クリスマス会」
- ◇開催日：令和4年12月4日（日）
- ◇対象者：ひとり親家庭福祉社会会員
- ◇会場：総合福祉センター 大会議室
- ◇共催：鹿沼市ひとり親家庭福祉社会、株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店
- ◇後援：鹿沼市社会福祉協議会
- ◇内容：親子でクリスマスボードづくり体験、ボッチャの体験、ビンゴゲーム
- ◇参加者：大人14名 子ども23名



③子育て世帯を対象にした企業による体験イベントの開催

株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店様より体験キットを無償で提供していただき、子育て世帯の親子を対象に体験イベントを実施した。

- ◇開催日：令和5年3月18日（土）
- ◇対象者：子育て世帯の親子
- ◇会場：総合福祉センター 大会議室
- ◇主催：株式会社 LIXIL トータルサービス北関東支店、鹿沼市社会福祉協議会
- ◇協力：NPO 法人レインボー
- ◇内容：親子でハーバリウム・テラリウムづくり体験
- ◇参加者：大人20名 子ども29名



3. 日本赤十字社活動の実施

5月1日～5月31日を強化月間として日赤社資の募金活動を実施した。
また、火災等に遭われた方を対象に見舞金及び物資等の支給を行った。

社資合計・・・9, 825, 319円

災害見舞金	8件	80,000円
弔慰金	3件	30,000円

救援物資	布団セット	11セット
	毛布	10枚
	緊急セット	1セット

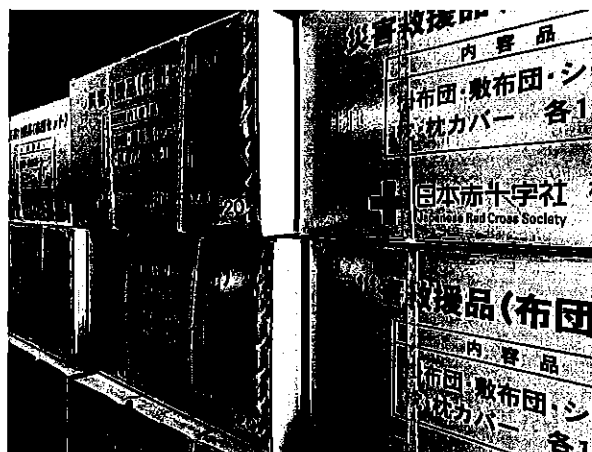
《街頭募金の実施》

ボーイスカウト鹿沼第1団、第4団と協力し、市民に対しトルコ・シリア救援金の協力を呼び掛けした。(街頭募金)

日時：令和5年3月5日（日）10時～12時
場所：まちの駅新鹿沼宿
金額：67,785円



◇ボーイスカウト鹿沼第1団、第4団による街頭募金



◇災害救援物資

V 災害対策事業

コロナ禍において災害支援のあり方も感染予防や人的移動を制限しながら行うことが全国各地の被災地で一般的になった。あらためて地元主体の災害ボランティアの必要性や地域の災害時の連携や支援力の強化が求められている。地元の災害ボランティアを育成するために講座を実施、また技術系ボランティアのチームかぬまへの活動支援を行った。

1. 令和4年度大雨災害の対応(令和4年8月～9月の災害支援等)

令和4年8月豪雨災害への支援

(1) 被災地支援の募金運動の実施

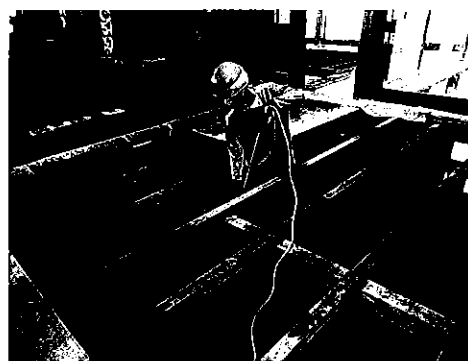
被災地支援を目的とした募金運動を展開し、総合福祉センター窓口へ募金箱を設置した。

(2) 被災地支援活動の応援

新潟県関川村災害ボランティアセンターと連携し、災害ボランティアチームかぬまが災害支援活動を行うためのサポートとして赤い羽根共同募金ボランティア活動援助金を活用した。



◇浸水家屋の床上げ



◇浸水家屋の床下の消毒

(3) 静岡県台風15号災害への職員派遣

静岡県社会福祉協議会の要請により、栃木県社会福祉協議会及び県内市町社会福祉協議会の職員が関東ブロック県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定及び栃木県内社会福祉協議会における災害時支援協定に基づき、当会職員からも職員の派遣を行った。

◇期間 令和4年10月3日～10月7日(第1クール)

◇派遣先 静岡県静岡市清水区災害ボランティアセンター

◇主な内容 災害ボランティアセンターの移転及び運営支援

◇派遣人数 5名(栃木県社協、鹿沼市社協、小山市社協、佐野市社協)



◇大内公園でのセンター移設準備



◇第1クール派遣(栃木県・東京都)

2. 研修・会議等への参加

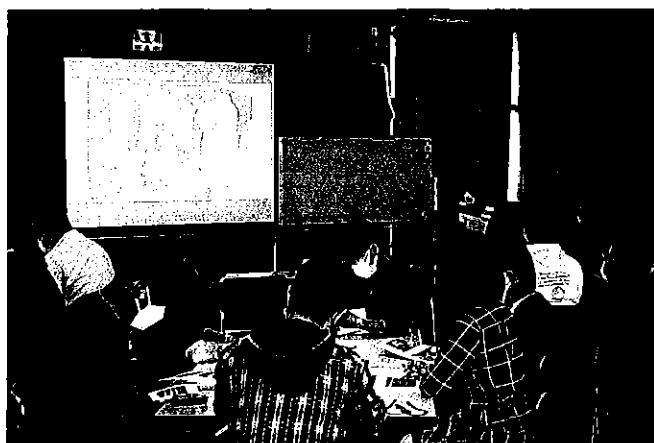
職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

- ① 災害ボランティアセンター実践力強化プロジェクトとちぎ（主催 栃木県社会福祉協議会）
当会職員がサブリーダーとして参加。
- ② 災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）
とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議
- ③ 災害ボランティアセンター運営コーディネーター初級研修（主催 栃木県社会福祉協議会）
当会職員が運営及び講師、受講生としてチームかぬま、ひのきしん隊が参加。
- ④ 災害ボランティアセンター運営コーディネーター中級編（主催 栃木県社会福祉協議会）

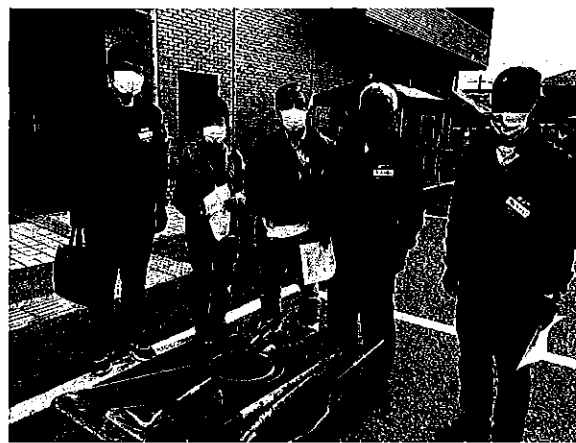
3. 養成講座の開催 ～はじめての災害ボランティア養成講座の開催～

コロナ禍において感染予防の措置として災害ボランティアも地元や近隣での募集が一般的になり、あらためて地元主体の災害ボランティアセンターや地元での災害支援力の強化が求められ、地域住民及び自治会や企業等と連携し講座を開催した。

- ◇期間 令和4年10月23日
- ◇会場 総合福祉センター
- ◇内容 災害ボランティアセンターの機能と役割の理解、災害ボランティアの参加と準備
災害ボランティアセンター模擬体験等
- ◇人数 23名参加
- ◇協働 鹿沼市ボランティア連絡協議会、災害ボランティアチームかぬま



◇講義の様子



◇災害ボランティアセンター体験

VI. 介護・障がいと自立支援

介護保険指定事業者・障がい福祉サービス指定事業者として常に質の高いサービスの提供を心がけた。また、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染予防に努めながら各種事業に取り組み、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援した。

1. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに高齢者支援センター（地域包括支援センター）から介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	967
介護予防支援	210
合 計	1,177

【参考資料 P32】

<介護区分別実利用者数>

令和5年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
0	3	14	35	13	17	15	0	97

<研修・会議等への参加>

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

主な内容：青年後見制度、ケアマネージャー合同研修会、ケアマネジメント研修等

【参考資料 P34】

(2) 通所介護事業（デイサービス）

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、高齢者施設で相次ぐ感染が報告されたが、検温・手洗い・消毒・換気など感染対策を徹底しながら利用者が1日楽しく過ごせるよう配慮し、感染者を出すことなく営業ができた。

また、少しでも自宅で自立した生活が送れるように、家族の負担を軽減できるようなサービスを継続的に行えるよう努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
介護支援	1,633
介護予防支援	291
合 計	1,924

【参考資料 P32】

◇年間実施日数.....247日

◇1日あたりの平均利用者...7.8人

◇協力ボランティア数.....個人数：1人

散髪サービスのみ（年間実施回数 23回 利用者60名）

VI. 介護・障がいと自立支援

<介護区分別実利用者数>

令5年3月31日現在 (単位:名)

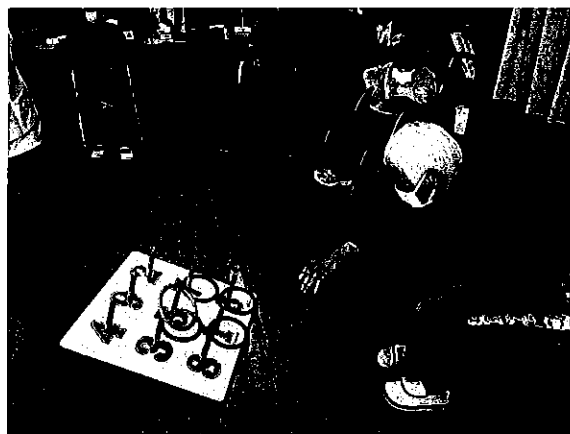
申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	0	1	6	4	4	3	0	19

<年間行事实績>

月 日	行 事 内 容	参加者数	
4月 7日～ 8日	桜の花見 (南摩:高木校庭)	21名	
5月 2日・30日・31日	菖蒲湯	33名	
	23日	バラ湯	14名
6月 1日～3日	菖蒲湯	26名	
7月 7日・8日	ブルーベリー狩り	17名	
8月 8日・9日	納涼祭	14名	
9月 19日	敬老会	11名	
10月 10日・11日	運動会	13名	
	27日	紅葉狩り (ドライブ)	3名
11月 7日・8日	紅葉狩り (運動公園)	15名	
	28日	ゆず湯	7名
12月 1日～28日	ゆず湯	132名	
	19日・20日・23日	クリスマス会	24名
2月 1日～3日	豆まき	18名	
3月 1日～3日	ひな祭り	20名	
	27日	桜の花見 (南摩:高木校庭)	9名
	28日	桜の花見 (運動公園)	6名



◇ 桜の花見



◇ 輪投げ大会

<研修・会議等への参加>

通所介護利用者およびその家族が抱える増大かつ多様化する介護ニーズについて、的確かつ迅速に対応した適切な基本知識と技術を有する専門職としての資質の向上を図るため研修に参加した。

主な内容:熱中症・脱水予防、緊急時の対応、口腔ケア研修等

【参考資料 P34】

VI. 介護・障がいと自立支援

2. 心配ごと相談事業(介護相談)の実施

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

＜相談対応実績（延人数）＞

令和5年3月31日現在（単位：名）

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
44	2	3	2	0	2	4	57

3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法・児童福祉法等の関係法令に基づき、障がい児者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密にし支援を行った。

（1）指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

本人や家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談や障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。また、鹿沼市自立支援協議会相談支援部会等に参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。さらに、指定障害児相談支援事業の積極的な受け入れを開始した。

令和5年3月31日現在

サービス名	実利用数（件）
指定特定相談支援	65
指定障害児相談支援	8

（2）研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

① 基幹型相談支援センター会議（5回）

② 相談支援部会活動（12回）

参加日：令和4年

③ その他研修会

（3）虐待防止委員会の設置・開催

令和5年3月16日 第1回虐待防止委員会を開催した。

【参考資料 P34】

Ⅶ 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。この一年間は、コロナ禍のため、地域や社会との交流を十分に行うことが出来なかった。そのため、敷地内の整備をし、花やキノコなどを植え、利用者が楽しめるようにし、心身の健全に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動にもより一層、力を入れた。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、3名の該当者があった。

5期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

(1) 利用者の状況

- ◇利用者数 40名 令和5年3月31日現在
- ◇年間異動者数 27名(新規入所12名、退所15名)
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 0名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	43	41	40	40	41	43	43	41	40	40	40	40
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 年間行事実績

月	日	行事内容	利用者参加者数(名)
4月	5日	花見会	全員
6月	1日	やちよ会奉仕作業(空き缶・ゴミ拾い)	8
7月	7日	お楽しみ会	全員
	28日	七夕飾り・納涼祭	全員
9月	15日	お楽しみ会	全員
10月	4日	日帰りドライブ(宇都宮ろまんちっく村)	5
	13日	日帰りドライブ(宇都宮ろまんちっく村)	6
	27日	敬老式	全員
12月	22日	クリスマス会・忘年会	全員
2月	28日	お楽しみ会	全員

(3) 地域等との交流

◇今年度は、コロナ感染予防のため、市内の幼稚園・保育園、小中学校及び高校生との交流や受け入れ等を行うことが出来なかった。また、例年地域老人と共に行っている交流会も開催することが出来ず、施設の状況を地域に知ってもらい連携を深めることもままならなかった。一般のボランティア団体等の訪問・交流もできない状況だった。来年度は、コロナ対策を継続しつつ、交流も深められるように計画していきたい。

Ⅷ. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

(1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
308 日	41,944 人 (1 日平均 136 人)	8,050,900 円

※ 利用者内訳

60 歳以上 (市内)	60 歳以上 (市外)	中学生～ 60 歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
31,017 人	2,508 人	3,119 人	4,081 人	1,219 人	41,944 人

(2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数	参加者数 (延べ数)
健康体操講座	0 回	0 人
いきいき体操講座	0 回	0 人
らくらくヨガ講座	0 回	0 人
たのしい折り紙講座	0 回	0 人
サプライズイベント	3 回	397 人
合計	3 回	397 人

(3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

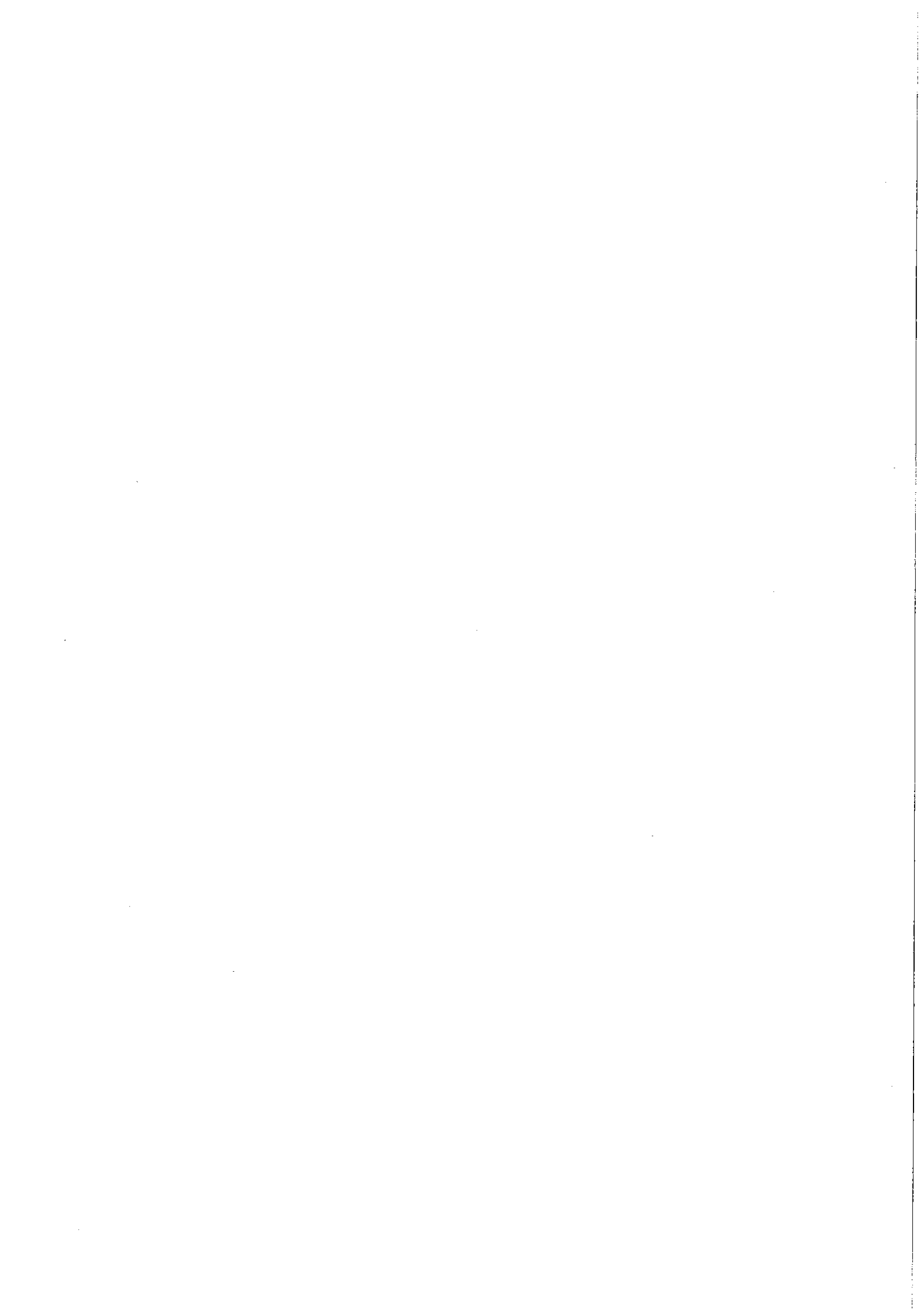
内容	開催回数	参加者数 (延べ数)
自主クラブの利用	71 回	577 人
機能回復訓練の実施	0 回	0 人
合計	71 回	577 人

(4) 改良、改善への取組み

- ・お楽しみ会の代替として、季節やお風呂の日（七夕・お風呂の日・節分）に合わせたサプライズイベントを企画し、利用者の皆様に楽しんでいただいた。

参考資料

1. 会費（年度別状況）
 2. 総合福祉センターの利用状況
 3. 表彰受賞者（鹿沼市地域福祉振興大会、栃木県民福祉のつどい）
 4. ボランティアセンター登録団体
 5. 共同募金の状況
 6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
 7. 障がいサービスの提供状況
 8. 研修会、会議等への参加状況
 9. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表
-



1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
普通会費 1口 500円	20,112	10,052,290	19,527	9,760,322	19,505	9,768,415	19,014	9,501,558	18,580	9,286,952
賛助会費 1口 2,000円	68	136,000	70	140,000	73	146,000	66	132,000	57	114,000
特別会費 1口 3,000円	43	129,000	28	85,000	30	90,000	34	103,000	27	82,000
団体会費 1口 5,000円	83	415,000	80	400,000	113	565,000	100	500,000	107	535,000
合 計	20,306	10,732,290	19,705	10,385,322	19,721	10,569,415	19,214	10,236,558	18,771	10,017,952

2. 総合福祉センターの利用状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
延べ件数 (件)	1,287	1,272	893	1,086	1,446
延べ人数 (人)	10,999	11,098	5,224	6,227	9,952

3. 表彰受賞者

(順不同・敬称略)

(1) 令和 4 年度鹿沼市地域福祉振興大会

① 大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
地域福祉功労者・団体	自治会長		
	瓦井 圭一	安生 優	川上 良夫
	福富 保通	貝沼 三雄	鈴木 道夫
	村岡 俊	鮎田 順一	井上 一久
	山田 保	福島 隆男	茂櫛 新一
	荒井 勝美		
	民生委員・児童委員		
	石岡 ヒロ子	平野 勝	堀口 良男
	楯本 ミヨ子	内田 幸枝	市村 雅子
	仁平 須須子	安野 利江	手塚 紀恵
	小平 勇	神長 哲	菊地 美智子
	関口 清	根本 ますよ	関口 一枝
	野澤 元造	小森 基伊	小野口 幹夫
	福田 美津江	宇賀神 敦子	渡邊 雅紀
	須田 陽子	宇賀神 信夫	善林 淳子
	大手 紘次	大森 好美	田村 宣男
	倉澤 久男	斎藤 育子	松澤 康子
	荒井 とき子	半田 美穂	石塚 登
	小田部 久子	渡邊 恵美	赤羽根 良
	小室 朱実	大岡 信子	福田 慎造

参考資料

	早乙女 厚子	金子 利夫	
	保護司		
	太田 秀子	池澤 達夫	山根 徹
	稲本 光一郎		

②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
ボランティア功労者・団体	黒川 啓子	黒川 恵子	福田 達夫
	原野 勇	山下 晴江	岩井 豊
	駒場 美知子	松本 裕一	市川 幸江
	磯町自治会（磯町サロン）		
	南上野町サロンなかみち		
	野沢町星の宮サロン		
	ほっとサロンいたが運営委員会		
寄附者・団体	学びステーション鹿沼にここ会		
	小田部 周子	奈良部 實	太田 エイ
	菊地 正光		
	有限会社 農業生産法人かぬま		
	株式会社 安田測量		

(2) 第28回栃木県民福祉のつどい

①栃木県知事表彰

区 分	氏 名
共同募金運動協力団体又は協力者	戸澤 光明

②栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
社会福祉施設・団体関係功労者	神山 修平	齋藤 桃代	金子 英子
	松原 仁美	坂本 恵美	齋藤 美奈
	徳原 誠	中山 浩子	坂本 あゆみ
	武田 亜沙美	横田 正子	高野 厚子
	宮原 勇太	齋藤 直子	大橋 和江
	大貫 ユリ子	鈴木 舞	石川 沙織
	和久井 知子	高木 彩	伊藤 美江
	佐々木 信代	藏淵 亮太郎	小針 和也
	関谷 勇氣	蝦名 優太郎	小林 仁美
民生委員・児童委員功労者	寺山 正明	設楽 純子	

③栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名	
共同募金功労者	夏井 洋一	大谷 順一

4. ボランティアセンター登録団体

No.	名 称	主な活動内容
1	おはなしと人形劇のまざあぐらす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演
2	水の輪会	精神保健ボランティア
3	ボランティアみなみ	独居老人への友愛訪問、買い物支援
4	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流
5	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加
6	鹿沼そば商組合	地域福祉活動
7	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手
8	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障害者への服飾支援
9	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流
10	ボランティアグループ「あつた会」	高齢者住居周りの修繕活動
11	ボランティアふれあい	特別養護老人ホーム奉仕
12	要約筆記サークルいちご	要約筆記ボランティア活動
13	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流
14	おはなしボランティア“ノアの会”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作
15	ボランティアグループ春風	舞踊、唄、三味線
16	フラダンスとりあえず	福祉施設慰問、地域イベント活動
17	栃木県シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動
18	NPO 傾聴ボランティアチーム“ありのまま”鹿沼グループ	傾聴ボランティア
19	ボーイスカウト鹿沼第1団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
20	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
21	立正校成会鹿沼教会	社会奉仕活動
22	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動
23	NPO 法人 レインボー	子育て関連の活動
24	災害ボランティア チームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動
25	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ
26	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動
27	日本舞踊西川流 宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問
28	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)
29	にはんご FC	外国籍市民の日本語学習等
30	鹿沼精神保健福祉会(鹿沼やしお会)	精神保健の相談等
31	ボランティア「きよす」	高齢者サロン、小学生の登下校見守り等
32	シルバー大ラーニング 飛翔	福祉施設慰問、社会奉仕活動

5. 共同募金の状況

単位：円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A募金	4,464,000	4,727,000	4,156,000	4,156,000	4,657,000
B募金	10,562,000	9,577,000	7,958,200	7,630,678	6,853,927
合計	15,026,000	14,304,000	12,114,200	11,786,678	11,510,927

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を経営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
ケアプラン 作成	介護	105	839	94	932	136	967
	予防	28	159	23	221	23	210
デイサービス	介護	24	1,205	24	1,771	28	1,633
	予防	7	303	9	331	6	291

7. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
指定障害児相談支援	0	0	5	17	8	26
指定特定相談支援	66	392	68	378	65	373

研修会、会議等への参加状況（総務課、地域福祉課）

	期日	タイトル	参加者（名）
総務課	令和4年4月15日	日本赤十字 研修会	2
	令和4年5月16日	令和4年度 第1回社会福祉法人経営者研修会	2
	令和4年8月29日	令和4年度市町社会福祉協議会トップセミナー	4
	令和4年8月31日	鹿沼市関係公社等職員普通救命（AED）研修	2
	令和4年9月30日	令和4年度 市町社会福祉協議会管理職員研修会	1
	令和4年9月2日	鹿沼市関係公社等職員交通安全研修	2
	令和4年10月6日	令和4年度 市町社会福祉協議会 労務管理セミナー	2
	令和4年10月11日～13日	社会福祉法人 会計実務講座 初級社協コース	1
	令和4年12月11日～13日	社会福祉法人 会計実務講座 中級社協コース	1
	令和5年2月24日	鹿沼市関係公社等職員倫理研修	7
	令和4年4月8日	令和4年度 内部研修 ユニビスタ研修（第1回）	8
	令和4年9月8日～28日	令和4年度 内部研修 倫理研修会（第1回） 9/8、9/22、9/28	52
	令和4年9月29日	令和4年度 内部研修 ユニビスタ研修（第2回）	8
	令和4年11月4日～30日	令和4年度 内部研修 倫理研修会（第2回） 11/4、11/22、11/30	54
	令和5年3月28日	令和4年度 内部研修 ユニビスタ研修（第3回）	8
			154

	期日	タイトル	参加者（名）
地域福祉課	令和4年4月15日～3月17日	災害ボランティアセンター実践強化プロジェクトとちぎ	1
	令和4年4月20日	あすてらす新任専門員研修	1
	令和4年5月13日	貸付担当者研修	2
	令和4年5月24日	ボランティアコーディネーターセミナー	1
	令和4年5月27日	共同募金基礎研修（ZOOM）	1
	令和4年5月31日	あすてらす支援員研修	1
	令和4年6月27日	市町社協 法人後見事業担当職員研修会①	1
	令和4年7月6日	生活支援コーディネーター養成研修	2
	令和4年7月7日～8日	関東ブロック社協職員合同研究協議会	1
	令和4年7月8日	災害ボランティアセンター研修	1
	令和4年7月25日	中央地区 高崎市視察研修 同行	3
	令和4年8月1日	相談支援コーディネーター研修	1
	令和4年8月5日	市町社協 法人後見事業担当職員研修会②	1
	令和4年8月17日	あすてらす専門員研修	1
	令和4年8月23日	BCP研修会	1
	令和4年8月23日	市町社協 法人後見事業担当職員研修会③	1
	令和4年8月31日	共募研修	2
	令和4年9月6日	市町社協 法人後見事業担当職員研修会④	1
	令和4年9月7日	生活支援コーディネーター情報交換会	2
	令和4年9月7日	あすてらす支援員研修会（ZOOM）	1
	令和4年9月21日	南摩地区視察研修 同行	2
	令和4年9月26日	ヤングケアラー研修	2
	令和4年9月27日	後見制度利用促進研修会	1
	令和4年10月7日	福祉教育研修	1
	令和4年10月21日	災害VC運営マネジメント研修	1
	令和4年11月10日	デジタル技術セミナー（ZOOM）	1
	令和4年11月24日	地域協働推進員養成研修	2
	令和4年11月28日	生活福祉資金貸付事業担当職員勉強会	2
	令和4年11月30日	成年後見制度利用促進体制整備研修	1
	令和4年11月30日	生活支援コーディネーター研修	3
	令和4年12月6日	佐野市視察研修 同行	2
	令和4年12月9日	宇大防災シンポジウム	1
	令和4年12月13日	あすてらす研修	1
令和4年12月19日	フードバンク交流研修	1	
令和4年12月23日	コミュニティカレッジ	1	
令和5年1月12日,18日	第1回 災害VC運営支援者研修	2	
令和5年3月2日,4日	第2回 災害VC運営支援者研修	3	
		合計	53

研修会、会議等への参加状況（介護・障がい福祉課）

障がい福祉サービス事業 ～職員資質向上、ネットワーク形成～

	期日	タイトル	参加者（名）
障がい福祉サービス事業	令和4年4月19日	基幹相談支援センター会議①	1
	令和4年5月18日	基幹相談支援センター会議②	1
	令和4年6月15日	基幹相談支援センター会議③	1
	令和4年7月20日	基幹相談支援センター会議④	1
	令和4年10月26日	基幹相談支援センター会議⑤	1
	令和4年4月14日	相談支援部会活動①	2
	令和4年5月12日	相談支援部会活動②	2
	令和4年6月9日	相談支援部会活動③	2
	令和4年7月7日	相談支援部会活動④	2
	令和4年8月18日	相談支援部会活動⑤	2
	令和4年9月8日	相談支援部会活動⑥	2
	令和4年10月13日	相談支援部会活動⑦	2
	令和4年11月10日	相談支援部会活動⑧	2
	令和4年12月8日	相談支援部会活動⑨	2
	令和5年1月12日	相談支援部会活動⑩	2
	令和5年2月9日	相談支援部会活動⑪	2
	令和5年3月9日	相談支援部会活動⑫	2
	令和4年6月9日	成年後見制度研修	1
	令和4年8月26日	精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修（基礎）	2
	令和4年9月12日	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	2
	令和4年11月15日	ICF研修	1
	令和5年3月16日	第1回虐待防止委員会	7
合計			42

居宅介護支援事業～職員資質向上、ネットワーク形成～

	期日	タイトル	参加者（名）
居宅介護支援事業	令和4年6月9日	成年後見制度	3
	令和4年7月15日	ケアマネージャー合同研修会	3
	令和4年7月21日	ケアマネジメント研修会①	3
	令和4年8月20日	ケアマネジメント研修会②	3
	令和4年8月18日	ヤングケアラー研修	1
	令和4年9月14日	ハラスメント研修	1
	令和4年9月22日	ヤングケアラー研修	1
	令和4年10月27日	介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修	1
	令和4年11月15日	ケアマネジメント研修	3
	令和4年11月17日	スーパービジョン	1
	令和4年11月18日	ケアマネジメント合同研修	3
	令和4年12月6日	B C P策定について	1
	令和5年1月23日	意思決定支援研修	1
	令和5年1月26日	認知症研修	1
	令和5年1月30日	第5回自立支援チーム会議（事例提供）	2
	令和5年1月31日	介護予防支援従事者研修	1
	令和5年2月17日	ケアマネジメント合同研修	3
合計			32

通所介護事業（デイサービス）～利用者及び家族が抱える介護ニーズに対応～

	期日	タイトル	参加者（名）
通所介護事業	令和4年4月28日	利用者へのプライバシー保護と接遇の取り組み	6
	令和4年5月30日	熱中症・脱水予防	6
	令和4年6月28日	緊急時の対応	6
	令和4年7月25日	高齢者（利用者）の虐待事例検討	6
	令和4年8月18日	口腔ケア研修	1
	令和4年8月25日	介護従事者研修会	1
	令和4年9月14日	認知症ケア講座	1
	令和4年10月18日	市町社協介護保険サービス連絡会	3
	令和4年12月12日	インフルエンザ・ノロウイルス対策	6
	令和4年12月24日	虐待防止研修	6
	合計		

鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表

(単位:人)

区分	市内(有料)利用者					市外(有料)利用者				無料利用者				利用者合計 ④(①+②+③)	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤
	60歳以上	60歳未満	身障者・小学生	市内計①		市外	キャンプ場	市外計②	未就学児他	免除(条8)	無料計③					
				60歳以上	60歳未満						無料計③					
12~17年度	500,498	107,029	51,566	659,093	35,722		35,722			50,028	50,028	744,843	1,808	412.0		
18年度	69,144	12,540	10,615	92,299	3,110		3,110			8,594	8,594	104,003	301	345.5		
19年度	67,798	11,437	9,978	89,213	2,684		2,684			7,620	7,620	99,517	302	329.5		
20年度	68,380	11,543	10,675	90,598	2,785		2,785			8,180	8,180	101,563	304	334.1		
21年度	68,749	9,482	10,033	88,264	2,657		2,657			8,716	8,716	99,637	302	329.9		
22年度	63,634	5,166	7,706	76,506	2,245	4,766	7,011	1,455	3,109	4,564	4,564	88,081	291	302.7		
23年度	55,889	4,109	7,244	67,242	1,968	4,171	6,139	1,278	2,996	4,274	4,274	77,655	295	263.2		
24年度	62,896	3,664	8,332	74,892	2,303	4,556	6,859	1,428	2,596	4,024	4,024	85,775	313	274.0		
25年度	63,052	3,377	8,248	74,677	2,166	4,777	6,943	1,432	2,443	3,875	3,875	85,495	314	272.3		
26年度	67,442	3,335	7,425	78,202	2,376	4,929	7,305	1,645	3,130	4,775	4,775	90,282	313	288.4		
27年度	64,094	7,400	9,153	80,647	2,528		2,528	1,444	3,573	5,017	5,017	88,192	301	293.0		
28年度	62,810	7,772	9,440	80,022	4,681		4,681	1,439	2,588	4,027	4,027	88,730	307	289.0		
29年度	57,060	7,114	8,154	72,328	5,274		5,274	1,204	2,087	3,291	3,291	80,893	282	286.9		
30年度	60,145	7,080	8,008	75,233	7,336		7,336	1,070	3,207	4,277	4,277	86,846	302	287.6		
元年度	54,329	6,606	6,829	67,764	7,810		7,810	1,031	5,444	6,475	6,475	82,049	283	289.9		
2年度	18,378	540	1,960	20,878	0		0	20	1,294	1,314	1,314	22,192	257	86.4		
3年度	16,607	851	1,708	19,166	527		527	57	976	1,033	1,033	20,726	245	84.6		
4年度	31,017	3,119	4,081	38,217	2,508		2,508	402	817	1,219	1,219	41,944	308	136.2		
合計	1,451,922	212,164	175,366	1,766,980	85,645	23,199	108,844	13,446	115,605	127,737	127,737	2,003,561	6,275	307		

※ 12~21年度については、キャンプ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。

※ 27年度より、市外料金及びキャンプ場利用者区分を廃止した。

